



令和 8 年 4 月 7 日

発行者 横浜市立篠原中学校

校長 濱崎 利司

**学校教育目標 自分・想い・未来**

横浜で唯一、学区に新幹線が停車する中学校

4月号

## 予感の春

4月になりました。今年の始業式、入学式では桜は葉桜となり、ピンクと緑のコントラストが美しいですね。私は桜よりも、葉桜のほうが好きなんですよ。

初めまして、神奈川区の松本中学校より副校長として赴任してまいりました石井 亮(いしい りょう)と申します。新しい職場と新しい立場でドキドキワクワクしながら働いています。4月1日から篠原中学校で仕事をしていますが…何かが足りない。何かが違う。何が違う? そう、そこには子どもの姿は見られませんでした。しかし4月7日、今日はちょっと違うぞっ! 朝からたくさんの生徒がドキドキしながら登校してくる姿が見られ、たくさんの子どもたちの声が聞こえました。やっぱり生徒がいる学校はいいものですね。こちらが引き締まりました。そして着任式・始業式で初めて皆さんにお会いしましたが、皆さんしっかりと壇上を見つめ、先生方のお話に耳を傾けていましたね。「当たり前じゃん!?’’と思うかもしれませんが、それができるって素晴らしいことなんです。このままその素敵さと素晴らしさをキープしていきましょう!



午後には入学式が行われました。大きめの制服と真新しい上履き、そして緊張した面持ちの新生入生を見て、新しい一年の始まりを実感しました。生徒たちはみんなワクワクしながら登校し、ニコニコしながら自分のクラスを確認、そしてドキドキしながら自分のクラスに向かっていきました。私もドキドキしながら体育館に向かいました。新しい日常が始まる、何か楽しいことが始まりそうな小気味よい緊張感がお互いありましたね。私も新生入生の皆さんも篠原中学校1年生。いろいろなことを一緒に吸収していきましょう。そしてそのために必要不可欠なのが、諸先輩方の力です。2,3年生の皆さん、新生入生と新しい先生方をよろしくね。学校は個性が集まる場所です。たくさんの人を知り、さまざまな個性を知り、人それぞれの個性とともに篠原中学校生活を楽しんでいきましょう。そしてみんなでさらに素敵で楽しい学校を作っていきましょう。

そして篠原中学校にきて一週間ですが、早くも地域の力を実感しています。少しお話をさせていただく機会もあったのですが、どの方も協力的で温かいですね。篠原中中学生徒640人に対して学校教職員約60人…う~ん。しかし我々教職員約60名+保護者の方々多数、そしてそこに地域の方々多数を合わせれば、それはもう最強チームが誕生します。多感な中学生ですので、この先にはいろいろなことがあるとは思いますが、教職員+保護者+地域の方々からなる最強チームで連携をとり、圧倒的人数で子どもたちを見守り、成長をサポートしていければと思います。学校で何か気になることがあったら連絡・

相談をさせていただきます。ご家庭でも何か気になることがあればお気軽にご連絡ください。私がここ十数年の教員生活でわかったことは「私、無力。」ということです。かなり多くの人々に支えられ、助けられ、励まされ、迷惑をかけながらここまでやってこられたのです。これからも、ぜひ、皆さんのお力を借りて共にやっていければと思います。「チーム篠原!! 目標:子どもたちの大いなる成長」で、これからよろしくお願いたします。

